

ネットワークカメラで安心・安全な街づくり。

上十条三丁目町会様 東京都北区

防犯意識が高まる中、より住みやすい街を目指してネットワークカメラを設置する町会・自治会が増えています。東京都北区の上十条三丁目町会様も2013年12月にネットワークカメラWV-SW316Jを12台導入されました。その鮮明な画質に高い評価をいただいています。

採用の決め手は鮮明画質とデザイン

安心・安全な街づくりは、いまや時代のキーワードになっています。ネットワークカメラの導入を促進するため補助金を交付する自治体も全国に広がってきました。上十条三丁目町会様も北区の補助金制度を活用して導入されました。

設置工事を担当されたのは同じ北区にある株式会社アイファシリティ様です。電気工事会社であると同時に一級建築事務所でもあり、建築・設計も手掛けられています。機種を選定に当たっては、町会長様より「暗くなっても画質がいいこと」というご要望がありました。アイファシリティ様は、以前より事務所の外壁にWV-SW316Jを設置されていたこともあり、夜間の画質については自信を持っておすすめされました。「事務所の外にでると暗くて見えないのに、モニターではしっかり見えます。画質は確証がありました」と代表取締役 池野吉次様はおっしゃいます。もうひとつの



人通りの多い路地もしっかり見張っています。

決め手はスタイリッシュなデザインでした。上十条三丁目は約1400世帯が暮らす住宅街。威圧感のあるカメラよりも街の景観に溶け込むことを重要視されたとのこと。枝に小鳥が止まっているイメージ

で設置工事をされたそうで、仕上がりにご満足されているそうです。

北区の各町会に広がる、セキュリティカメラの導入

記録方式はSDカードを採用されています。設置後、町内である事件があり、警察から画像提供の要望がありました。町会長様立ち会いのもと、SDカードの画像を確認すると、その鮮明な画質に町会長様はもとより警察当局からも高い評価を得られたということです。

アイファシリティ様がネットワークカメラ導入をお手伝いされた上十条三丁目、王子一・二丁目・商店街の実績により、その後、豊島一丁目、東十条四丁目、志茂二丁目からご依頼があり、計51台のネットワークカメラをご採用いただいています。今後は保守点検もビジネスにつなげていきたいと池野様はおっしゃっています。



スリムなデザインがご採用の決め手でした。



ご提案のポイント



株式会社アイファシリティ
代表取締役 池野吉次様

ネットワークカメラの導入は自治体の補助金を活用するケースが多く、限られた台数をいかに効率的に配置するかがポイントになります。児童や小学生の通学路の他に、過去、放火や空き巣の被害があった場所を町会長様からヒアリングして、設置場所やカメラの向きを入念に検討しました。また区役所や警察とも協議し、場所の選定に問題がないか検証していただいています。設置場所に電柱や街灯柱がない場合、ポールを新設しますが、近隣の住民の方からご理解をいただくことも重要になってきます。